

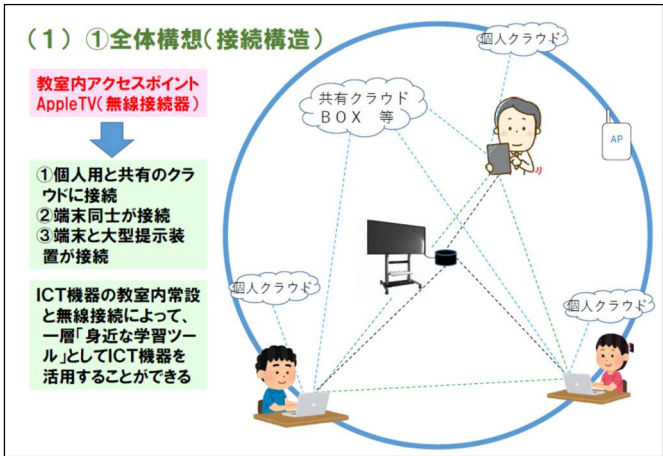
# 1 ICTの授業への活用

## (1) 一人1台端末(タブレット)利用の授業イメージ

- ①全体構想(接続構造)
- ②学習ツールの特性

## (2) 具体的な学習場面

- ①学習の構想
- ②現在行っている学習の紹介



## (1) ②学習ツールの特性

学習ツール	特性
教科書	見開きの情報がそのまま提示されている。
ノート	筆記作業等によって学習の軌跡を残すことができる。
黒板	特別な技術を必要としない。誰でも簡単に使用できる。
端末 (iPad)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なデータを作成、表示することができる。</li> <li>・データの修正や編集、記録も容易。</li> <li>・ネット等を活用し情報収集・発信をすることができる。</li> <li>・大量の記録を蓄積・閲覧することができる。</li> <li>・子どもの学習意欲を高める効果がある。</li> </ul>
大型提示装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく提示することができる。</li> <li>・多くの情報を表示することができる。</li> <li>・紙媒体であっても端末経由で表示できる。</li> <li>・児童生徒の端末と違う内容(教師や一部の児童生徒の端末画面等)を表示することができる。</li> <li>・子どもの学習意欲を高める効果がある。</li> </ul>

## (1) ②学習ツールの特性

今後、デジタル教科書等のデジタルコンテンツの普及。教科書やノート、黒板等がICT機器に替わるか？



必要事項が端的に表現されている。必要なページをいつでも見ることができる。

自らの手で筆記することで、記憶に残る。学びが定着する効果もある。

ポイント等を記載し、その時間、その子どもたちで作り上げた授業の様子、学びの軌跡が残る。

学習ツールそれぞれの特性を生かし、その年齢、その学習、その時間に最適な学習ツールが選択される。  
選択の幅が増えた。最適な学習ツールを選んで使用することにおいては、これまでと変わらない。

## (1) ②学習ツールの特性



## (2) ①学習の構想

- ・個々の情報収集と全体の情報共有が進む。
- ・学習の双方向化が進む。(教師と子ども、子ども同士)
- ・端末の機能及びアプリケーション等



種別	ソフト・アプリケーション (App)	購入・インストール方法等
ID管理	・市内の全ての児童生徒、教職員のID等を一元管理 ・個人ID (Apple, Google, Microsoft) を一つのIDに統合して管理 (Azure ADを活用) する	* 委託管理業者がMDM/パソコンを使用して行う。
授業支援ソフト	(Apple) クラッスルーム スクールワーク (Google) G Suite	* 無料で使用
文書表計算スライド	(Apple) Pages, Numbers, Keynote (Microsoft) Word, Excel, PowerPoint ** (Google) ドキュメント、スプレッドシート、スライド	* 無料で使用 ** ネット経由でMicrosoft365A1使用
その他	カメラ (写真、動画撮影)、動画編集、テレビ会議 safari (ネット検索等)	* 無料 * インストール済み

## (2) ②現在行っている学習の紹介



本日  
iPad に触れて、  
アプリケーションやカメラ  
を体験してみましよう！